



# Seventeen 500 Owner's Manual

この度は Black Lion Audio Seventeen 500 をご購入いただきありがとうございます。Seventeen 500 は、Black Lion Audio が示す '76 スタイルのコンプレッサー/リミッターで、IC ベースのフロントエンド、シカゴ製カスタムデザイン出力トランス、超低ノイズ・フロアを実現する BLA 特許技術のパワー・デカップリング、ニチコン製ハイグレード・シグナル・コンデンサーを贅沢にも採用することで、このスタイルのコンプレッサーでは不可能だった驚くほどのディテール / ニュアンスと現代のミュージシャンが必要とする機能を 500 互換モジュールでも手に入れられるのです。

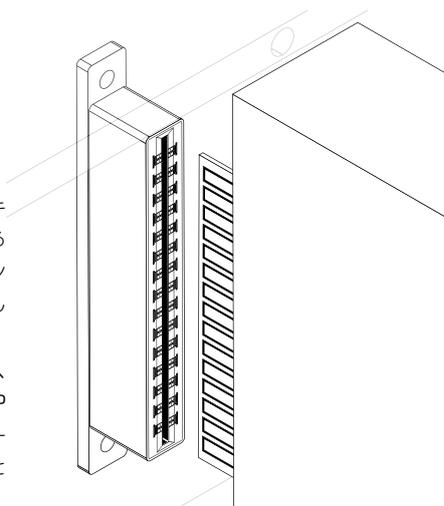
## <取付方法>

1. スタジオモニターをミュートします。
2. 500 シリーズ・シャーシの電源をオフにします。
3. Seventeen 500 のカードエッジコネクタ及び周囲に異常が無いことを確認します。
4. Seventeen 500 を 500 シリーズ・シャーシの空きスロットに注意深くスライドさせます。
5. モジュールのカードエッジ・コネクタが右図の EDAC コネクタに正しく挿入されていることを確認します。
6. Seventeen 500 を、前面に取り付けられた 4 本のネジでシャーシに固定します。
7. 500 シリーズ・シャーシの電源をオンにします。

## <初期設定>

バランス XLR ケーブルを使用して、500 シリーズ・シャーシから Seventeen 500 の入出力をミキシングバスやパッチベイに接続します。Seventeen 500 を 2 台並列 (またはステレオ) で使用する場合、RCA ケーブルを使用して前面にマウントされている RCA 端子間で接続します。すべてのコントロールを完全左の位置に設定し、すべてのプッシュボタンの選択を解除またはオフの位置に設定します。[Bypass] ボタンをオン位置に設定してから電源を入れます。

モニターのミュートを解除し、信号がユニットを通過していることを確認します。[INPUT]、[OUTPUT]、[ATTACK]、[RELEASE] の各コントロールを 12 時の位置に設定し、[COMP MIX] を完全右に、[RATIO] を 4 にそれぞれ設定してから、[Bypass] ボタンを解除します。メーターに数 dB 反応が出るまで [INPUT] を上げます。もう一度、信号がユニットを通過していることを確認します。これで完了です。



注：適切な性能を得るには、すべての入出力にバランス XLR を使用する必要があります。

## [Attack] コントロールについての注意：

Seventeen 500 の [Attack] コントロールは、他の 76 年スタイルのコンプレッサーとは少し違った動作をします。[Attack] ノブを左 (反時計回り) に回すとアタック時間が早くなり、右 (時計回り) に回すと遅くなります。この方が、ボリューム・ノブを左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がるような感覚で、より直感的に操作できると考えています。

- ・アタック：連続可変 20 $\mu$ S ~ 800 $\mu$ S
- ・リリース：連続可変 1200mS ~ 50mS

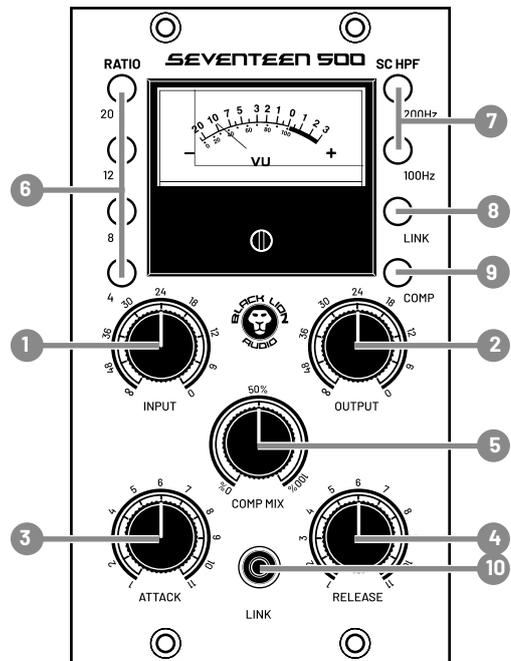
## ステレオリンクについての注意：

[Link] ボタンは、モジュール前面の RCA 入力端子をステレオペアリングに対して有効にします。ペアリングを完了させるには、両ユニットでリンクボタンが有効になっており、ユニット間が RCA ケーブルで接続されている必要があります。Seventeen 500 は、一部の 500 シリーズフレーム内の内部リンクバスを利用しません。リンク機能は完全に独立しています。

ステレオリンク経由で Seventeen 500 のペアを動作する場合、まず両ユニットの設定をマッチさせます。リンクされているのは内部のディテクター回路であり、(フロントパネルの) コントロールではないためです。76 年スタイルのコンプレッサーの設計上の制約から、外付けのバッテリー駆動式バランスボックスなしで 2 つのユニットが 100% マッチすることはありません。バランスボックスがない場合、完璧なステレオマッチングを実現するために入出力コントロールに若干の調整が必要かもしれません。

フロントパネル:

1. 入力: スレッシュホールドを設定し、コンプレッサーが動作を開始するレベルをコントロールします。
2. 出力: メイクアップゲインをコンプレッション済み信号に適用してコンプレッションの信号ロスを補正します。
3. アタック: ユニットが入力信号に反応するのにかかる時間をコントロールします。
4. リリース: コンプレッサーがコンプレッション済み信号をリリースするスピードをコントロールします。
5. コンプミックス: ユーザーがコンプレッションのかかっていないドライ信号をコンプレッション済みのウェット信号と組み合わせより自然なサウンドのコンプレッションを実現します。
6. レシオ: 適用されるコンプレッションの量をコントロール (全押しモード可能) します。
7. サイドチェーンハイパスフィルター: サイドチェーン入力フィルターのカットオフを200Hzと100Hzから選択し、低周波サウンドがコンプレッサーをトリガーするのを防ぐために使用します。
8. リンク: 他の Seventeen 500 と接続時にステレオリンクを行うのに使用し、接続されている両ユニットで Link 機能が有効になっていることを確認してください。
9. コンプ: コンプレッション回路をアクティブ/バイパスします。
10. RCA ステレオリンク: ステレオリンクに標準 2 コンダクター RCA ケーブルを使用します。



<技術仕様>

アタック	連続可変 20uS ~ 800uS
リリース	連続可変 50mS ~ 1200mS
サイドチェーン HPF	オフ、100Hz、200Hz
レシオ	プッシュボタン: 4:1、8:1、12:1、20:1 および任意の組み合わせ (全押しモード対応)
電源電圧	± 16v
サイズ	幅: 76mm 高さ: 178mm 奥行き: 229mm
質量	1.47kg